

基準 10 教育情報等の公表

(1) 観点ごとの分析

観点 10-1-①: 大学の目的(学士課程であれば学部、学科又は課程等ごと、大学院課程であれば研究科又は専攻等ごとを含む。)が、適切に公表されるとともに、構成員(教職員及び学生)に周知されているか。

【観点到係る状況】

大学の目的は、以下のように学則第1条に定め大学のホームページ等で適切に公表されている。学則は学生ハンドブックへも掲載され新学期オリエンテーション等を通して教職員及び学生に周知されている。

資料 10-1-①-1 大学の目的

第1条 本学は学校教育法に則り社会経済的背景における人間の行動・地域社会及び社会制度等に関する諸科学を総合的に教授研究し、高潔なる人格と豊かな理想・感情を培い、社会事業の理論と技術を体得させることによって優秀な専門家を養成することを目的とし広く社会福祉増進に直接寄与することを使命とする。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/about/rinen/kisoku.html>

学士課程として学部、学科ごとに以下のとおり教育目標が定められ大学のホームページ等で適切に公表されている。教育目標は学生ハンドブックへも掲載され新学期オリエンテーション等を広く周知されている。

資料 10-1-①-2 学部、学科の目的

社会福祉学部の教育の目的

学校教育法に準拠し、社会経済的背景を踏まえて、人間の行動と地域社会及び社会制度等に関する諸科学を総合的に教授研究し、高潔なる人格と豊かな思想感情を培い、社会福祉の理論と技術を体得させることによって優秀な専門家を養成することを目的とし、広く社会福祉の増進に直接寄与することを使命とする。建学の精神である「①博愛の精神に基づく社会貢献(忘我友愛)、②社会福祉の理論を窮め、社会福祉実践を常に大切にすること(窮理躬行)、③異なる文化、異なる民族、異なる国籍の人々と共に生きる社会の創出(平和共生)」を体現する優れたソーシャルワーカーを多く輩出するため、ソーシャルワーク実践に必要な基礎的な価値、知識、技術を卒業時までに身につけることを社会福祉学部のねらいとする。少人数教育の特徴を活かして個別指導を徹底することで、人格の形成と豊かな教養を身につけ学士課程教育の質を高めるとともに、多様化・高度専門化する社会福祉領域を体系的に学習する教育モデルを確立し、全員が社会福祉士国家試験受験資格を取得するとともに、進路選択に応じて他の資格の取得も含めて計画的かつ柔軟に学べるカリキュラムを編成する。学生は、講義、演習の他、学内にとどまらない実習体験のなかで、周囲の多くの人々とともに研鑽を積み、学生自身が主体的に学びを深め、幅広い社会の課題を解決できる能力を養うことをめざす。

福祉計画学科の教育の目的

法学、経済学、社会学、教育学などの社会諸科学を基礎とし、これからの社会福祉政策、福祉サービス事業の経営及び手法、サービス利用者への情報提供、利用援助、権利擁護等について学びを深める。また、地域と自治体の福祉計画や地域に根ざしたニーズの把握、目標設定、ネットワークやケアマネジメント、サービス提供システムの開発、計画と実践に関する評価、多様な分野や専門職との連携、福祉教育や住民参加によるまちづくりについて学びを深めることを特徴として、福祉経営コース及び地域福祉コースの2コース体制で、社会福祉領域の専門職として新たな実践の創造、共に生きる地域社会づくりに貢献できる人材育成をねらいとする。

福祉援助学科の教育の目的

心身の疾病や障がい、子どもの発達や成長、高齢者の健康や生活、現代の家庭環境を含めた様々な困難に直面する問題解決につながる直接的支援、資源を活用した支援環境の整備といった福祉実践分野の専門的知識・援助について学びを深める。生活上に何らかの困難を抱え、その解決のために専門的な援助を求めている人々に対し、専門職としての倫理や価値、尊厳の保持、科学的思考に基づく解決方法と技術、チーム連携等の理論や知識を習得させることを特徴として、保健福祉コース、子ども・家庭福祉コース及び介護福祉コースの3コース体制で、福祉実践分野の今日的な課題に即応できる人材育成をねらいとする。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/faculty/gakubu/index.html>

大学院の目的は、以下のように大学院学則第1条に定め大学のホームページ等で適切に公表されている。大学院学則は大学院学生生活ハンドブックへも掲載され新学期オリエンテーション等を通して教職員及び学生に周知されている。

資料10-1 -①-3 大学院の目的

第1条 本大学院は学校教育法に則り、深い人間理解と広い社会的視野に基づいて、日常生活に支障がある人々の人権擁護や自立支援に必要な高度の知識及び技術を修得させ、福祉分野で指導的な役割を担うマネジメント技法などをふまえたソーシャルワーク専門職を養成し、さらに社会経済的背景における人間の行動・地域社会及び社会制度等に関する諸科学を総合的に教授研究し、高潔なる人格と豊かな理想的感情を培い、社会福祉学の理論と社会福祉実践に必要な技術を体得させるとともに、さらに進んで研究能力を養い、もって広く福祉社会の創造と福祉文化の発展に貢献することを目的とする。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/about/rinen/kisoku.html>

大学院課程においては、福祉マネジメント研究科、社会福祉学研究科それぞれに以下のように大学院学則第3条に定め大学のホームページ等で適切に公表されている。教育目標は各研究科の履修要項へも掲載され新学期オリエンテーション等を通じて広く周知されている。

資料10-1 -①-4 研究科の目的

第3条 専門職大学院は、深い人間理解と広い社会的視野に基づいて、日常生活に支障がある人々の人権擁護や自立支援に必要な高度な知識及び技術を修得させ、福祉分野で指導的な役割を担うマネジメント技法などをふまえたソーシャルワーク専門職を養成することを目的とする。

2 博士前期課程は、現代社会の変化に伴って変動する社会・福祉問題と人々の生活ニーズを適切に把握し、その解決に有効なソーシャルワーク等の社会福祉援助方法、社会福祉実践プログラム、社会福祉制度・政策のあり方、あるいは社会福祉理論を科学的に追求する高度の能力と方法を修得し、社会福祉実践の向上や発展に貢献できる実践的研究者及び研究的実践家を養成することを目的とする。

3 博士後期課程は、前期課程の目的を踏まえた研究課題を科学的に追求する自立した研究能力を修得するとともに、合わせて豊かな学識を養うことによって、社会福祉実践の向上や発展に資することのできる高度の実践的研究者及び研究的実践家を養成すること、並びに社会福祉実践の向上や発展に貢献する優れた実践家・研究者を育成できる教育者を養成することを目的とする。さらに社会経済的背景における人間の行動・地域社会及び社会制度等に関する諸科学を総合的に教授研究し、高潔なる人格と豊かな理想的感情を培い、社会福祉学の理論と社会福祉実践に必要な技術を体得させるとともに、さらに進んで研究能力を養い、もって広く福祉社会の創造と福祉文化の発展に貢献することを目的とする。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/about/rinen/kisoku.html>

【分析結果とその根拠理由】

大学の目的が学士課程は学部、学科ごと、大学院課程は研究科ごとに、適切に公表されるとともに、構成員（教職員及び学生）に周知されていると判断する。

観点10-1-②： 入学者受入方針、教育課程の編成・実施方針及び学位授与方針が適切に公表、周知されているか。

【観点に係る状況】

社会福祉学部の入学者受入方針はアドミッションポリシーとして、教育課程の編成・実施方針は学部及び各学科のカリキュラムポリシーとして、学位授与方針はディプロマポリシーとして定め、以下のように大学ホームページ等で適切に公表、周知されている。

資料 10-1 -②-1 社会福祉学部のアドミッションポリシー

社会福祉学部は、建学の精神と教育理念および目的に応じ、選抜試験における教科・科目を設定しており、以下のような人の入学を求めています。

- 勉学のために必要な基礎的学力を十分に備え、主体的に学ぶ意欲がある。
- 建学の精神を理解して、現代社会の問題に向き合うことができる。
- 誰もが安心して暮らせる社会を構築していこうとする意欲がある。社会福祉学部では、国内外から多様な文化や特性、障がい背景を持つ学生にも広く門戸を開けています。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/faculty/gakubu/index.html>

資料 10-1 -②-2 社会福祉学部のカリキュラムポリシー

社会福祉学部では、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成しています。

- 社会福祉に関する価値、知識、技術を体系的に学ぶための、講義、演習、実習に関する科目を設置する。
 - 社会福祉専門職としての能力や姿勢を育成するため、実習と卒業研究を必修とする。
 - 人格の形成と豊かな教養を身につけるため、人文科学、社会科学、自然科学の基礎に関する科目を設置する。
 - 演習および実習教育は少人数制とし、きめ細やかな指導により社会福祉の実践力を養う。
 - 全員が社会福祉士国家試験受験資格を得るとともに、進路選択に応じてさらなる資格取得ができる科目を設置する。
- 以上の教育について、学生の状況に応じた情報保障やコミュニケーション支援を行い、誰もが支障なく教育を受けることができる環境の整備に努めます。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/faculty/gakubu/index.html>

資料 10-1 -②-3 福祉計画学科のカリキュラムポリシー

将来、福祉経営や政策の専門家を養成する福祉経営コースと、地域福祉の計画化・環境整備・実践を担う専門家を養成する地域福祉コースを設置している。

- i. 福祉経営コースでは、①福祉サービスを必要とする人々の問題を把握し、その解決を支援するために必要な「法」、「経営」、「計画」、「政策」について、実施上のシステムや手法等について学ぶ。②サービス利用者への情報提供、利用援助、権利擁護等の今日的な重要テーマについて学ぶ。
- ii. 地域福祉コースでは、①福祉ニーズを持つ人の在宅生活の可能性を追求する地域と自治体の福祉計画について学ぶ。②要援護者や地域ニーズの把握、目標設定、ネットワークやケアマネジメント、サービス提供システムの開発、計画と実践に関する評価について学ぶ。③保健・医療・教育・司法・労働・建設などの分野との連携について学ぶ。④福祉教育や住民参加によるまちづくりについて学ぶ。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/faculty/gakubu/keikaku/index.html>

資料 10-1 -②-4 福祉援助学科のカリキュラムポリシー

様々な日常生活の問題に直面する問題解決につながる直接的支援、支援環境整備についての専門的知識・援助について学ぶ。保健福祉コース、子ども・家庭福祉コース、介護福祉コースの3コースを設置している。

- i. 保健福祉コースでは、様々な日常生活における課題、心身の健康や社会生活上のニーズを把握し、保健医療の専門家らとチームを組んでおこなう支援のための専門的知識・援助について学ぶ。
- ii. 子ども・家庭福祉コースでは、子どもの発達や現代の家庭環境などをふまえ、子どもと家族を支援するための専門的知識・援助について学ぶ。
- iii. 介護福祉コースでは、要介護状態にある人の問題を解決し、その人の望んでいる生活を実現するために必要な直接的な支援、資源を活用し環境を整備するための専門的知識・援助について学ぶ。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/faculty/gakubu/enjo/index.html>

資料 10-1 -②-5 社会福祉学部ディプロマポリシー

建学の精神を体現する優れたソーシャルワーカーとして以下の能力を身につけ、本学の学則に基づく所定の単位を修得したものに学位を授与する。

○ソーシャルワークに関する基礎的な価値、知識、技術を学び、卒業後ソーシャルワーカーとして実践をしていくために必要な以下の基本的な力を身につけている。

- ・すべての人にとって、尊厳が保持され自立した日常生活を営むことのできる社会の実現に貢献することへの強い動機と意欲があり、その達成に対する使命感を有している。
- ・基本的人権を尊重する価値観を有し、社会的公正に対して強い関心を有している。
- ・社会が直面する問題に対して、論理的かつ科学的思考にもとづき解決していく力がある。
- ・一人ひとりが直面している問題を理解し、直接的あるいは間接的な関わりを通してその人自身が問題を主体的に解決することをサポートしていく力がある。
- ・自己とは異なった価値観を持った利用者を理解し、受容するために自己の価値観と向かい合う自己覚知があることにより、異なる価値観を尊重することが出来る。

○人文科学・社会科学・自然科学の諸科学についての理解が深く、豊かな教養を身につけている。

○卒業後、自らの特性を活かした専門職となり、生涯にわたり研鑽を積みキャリアを形成していくとともに、絶えず自らの実践を振り返り、新たな実践を創造していく力がある。

○将来、多様な専門職と連携し、社会福祉領域において指導的役割を担うことの社会的責任を理解している。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/faculty/gakubu/index.html>

大学院課程においては、両研究科それぞれに入学受入方針はアドミッションポリシーとして、教育課程の編成・実施方針はカリキュラムポリシーとして、学位授与方針はディプロマポリシーとして定め、以下のように大学ホームページ等で適切に公表、周知されている。

資料 10-1 -②-6 福祉マネジメント研究科のアドミッションポリシー

教育目標の実現のために、以下のような学生を求めます。

- * 人間を深く理解し、人権を尊重し、一人ひとりの人権を何よりも大切にすることを目指す人
- * 社会の変化とこれにともなうニーズの変化に高い関心を持ち、これに対応しながら、人と社会のニーズの充足・実現に積極的に取り組もうとする人
- * 社会福祉に関して一定の知見を有し、社会福祉実践を科学的に考察しようとする人
- * 社会福祉実践、社会福祉サービスの質の向上に熱意をもって取り組もうとする人
- * 社会福祉関連領域での一定の実践経験を有する人

そして、各コースにおいては、特に次のような人材を求めます。

＜アドバンスソーシャルワークコース＞ 社会福祉関連領域での実践経験を有し、福祉サービス等のソーシャルワーク業務の中核的担い手を目指す人
 ＜福祉ビジネスマネジメントコース＞ 福祉サービスその他の経営・管理的業務の実務経験を有し、経営・管理業務の創造的な担い手を目指す人

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/faculty/gakubu/index.html>

資料 10-1 -②-7 福祉マネジメント研究科の教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

- ・人と組織、社会に関する基本的な知識と専門職に求められる倫理と価値、実践の技術と方法を体系的に学びます。
- ・理論と実務をつなぐ実践的な教育を行います。
- ・院生自身の「経験」を教材として使用し、「経験を深める」という実践の省察・概念化を中心とした「経験学習」の手法で学びます。
- ・教育の中核に、院生自身が自らの実践に対する振り返りを行うことを位置付け、その振り返りを分析し、理論化する方法を獲得することを支援します。
- ・演習や事例検討を重視します。
- ・上記とともに、新しく出来た福祉専門職の制度である、認定社会福祉士・認定上級社会福祉士制度に対応し、認定上級社会福祉士のカリキュラムを包含し、一部、認定社会福祉士のカリキュラムもカバーして行きます。
- ・修了後も、希望する院生には「継続修習生」として学びを継続する機会を保障し、認定社会福祉士・認定上級社会福祉士の取得を支援します。

＜課程の構成＞（理論科目） 人と組織、社会に関する基本的な知識と専門職に求められる価値を体系的に学びます。

（方法論科目） 2つのコースに分かれて、実践の方法に関する理論と知識・技術を学びます。

（実践系科目） 実践事例研究、実践の省察を支援するスーパービジョン、実践を対象とした研究・評価の方法を学びます。

（実践課題研究） 学修の全体を総括するために、主に自己の実践を対象として考察するレポートをまとめます。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/faculty/s-daigakuin/mokuhyo.html>

資料 10-1 -②-8 福祉マネジメント 研究科の学位授与方針（ディプロマポリシー）

- ・本専門職大学院が定めた期間在学し、その教育の理念及び目標に基づいて設定したカリキュラムに従った教育を受け、所定の単位を修得し、課程を修了 することが学位授与の要件です。
- ・福祉実践とその現場の創造的な発展に必要な基本的な知識を修得し、かつ、理論と実務の両面にわたる能力を備えることが、課程修了の重要な基準です。
- ・価値を基盤とした職業的倫理を深く理解し、実践できる専門的職業人であることが、課程修了に際して考慮されるべき 重要な要素です。
- ・本学の課程で修得した知識・技術・価値を基礎として、福祉実践の創造と現場の変革を担い、専門職としての自己形成の方向を獲得することが修了時の到達目標です。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/faculty/s-daigakuin/mokuhyo.html>

資料 10-1 -②-9 社会福祉学研究科の入学受入方針（アドミッションポリシー）

【研究に基づく 社会福祉実践向上への強い目的意識】

現在社会の変化に伴って変動する社会福祉のニーズに対して常に鋭敏な関心をよせ、それらのニーズをもつ人々への有効な支援のあり方を科学的に解明して、社会福祉実践の向上に資することに強い目的意識と熱意、使命感をもつ人。

【優れた実践研究を遂行する能力】

加えて、現代社会の多様な社会福祉ニーズの解明と科学的な問題解決、社会福祉実践向上への貢献を行うために必要な社会福祉学の基礎知識と総合的な学力を有し、柔軟で論理的な思考により実践研究を遂行できる人。

【国際的な視点】

その上で、アジアを含めて広く世界の社会福祉に関心を寄せ、国際的に活躍したいと考える人。

【生涯にわたる自己研鑽】

さらに、生涯教育やリカレント教育によって、生涯にわたって自己研鑽に励もうと考える人

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/faculty/daigakuin/index.html>

資料 10-1 -②-10 社会福祉学研究科の教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

博士前期課程

現代社会の変化に伴って変動する社会・福祉問題と人々の生活ニーズを適切に把握し、その解決に有効な能力を身につけるために以下の方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 社会福祉学の理論や学説並びに歴史背景を認識するための社会福祉基盤科目を設置する
2. 様々な福祉領域の学際的な視点を養うための多様な科目を設置する。
3. 自らの研究テーマを超えて、社会・福祉問題と人々の生活ニーズを適切に把握するための領域別科目を設置する。
4. 社会・福祉問題と人々の生活ニーズの解決に有効な研究手法を身につけるための研究方法論科目を設置する。
5. 修士論文を作成するために、指導教員を定めて研究指導を行い、2年目には中間報告を行い、様々な領域の教員によるコメントを交え、中間報告以降は、修士論文の作成に至るまで複数名の教員による指導を展開する。

博士後期課程

研究課題を科学的に追求する自立した研究能力と豊かな学識を身につけ、社会福祉実践の向上や発展に貢献する優れた実践家・研究者・教育者として活躍できる能力を身につけるために以下の方針に基づき教育課程を編成しています。

1. 博士論文を作成するために、博士論文指導を担当する教員の中から主と副の指導教員を定め、複数教員による研究指導を展開する。
2. 社会福祉学の豊かな学識を養うために、必要に応じて博士前期課程科目を履修させる。
3. 自立した研究能力を身につけるために、学会等での研究発表および査読付学術雑誌への投稿・掲載を基本とする。
4. 博士論文を作成するために、各年次にそれぞれの審査項目を設定し段階ごとの論文作成に至るまでの確認を複数教員にて行う

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/faculty/daigakuin/index.html>

資料 10-1 -②-11 社会福祉学研究科の学位授与方針（ディプロマポリシー）

博士前期課程

所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けたうえで、修士論文を提出して、論文指導を担当する教員全員で審査及び最終試験を行い、合格した者に修士（社会福祉学）の学位を授与する。

本課程の修了生は、社会福祉実践の向上や発展に貢献できる実践的研究者及び研究的実践家として、現代社会の変化に伴って変動する社会・福祉問題と人々の生活ニーズを適切に把握し、その解決に有効な次のいずれかの能力を身につけている。

1. 社会福祉援助方法を科学的に追求する能力
2. 社会福祉実践プログラムを科学的に追求する能力
3. 社会福祉制度・政策のあり方を科学的に追求する能力
4. 社会福祉理論を科学的に追求する高度の能力

博士後期課程

所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けたうえで、博士論文を提出してその審査及び最終試験に合格した者に博士（社会福祉学）の学位を授与する。

本課程の修了生は、社会福祉実践の向上や発展に資することのできる高度の実践的研究者及び研究的実践家として、研究課題を科学的に追求する自立した研究能力と豊かな学識を身につけ、社会福祉実践の向上や発展に貢献する優れた実践家・研究者・教育者として活躍できる能力を身につけている。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/faculty/daigakuin/index.html>

【分析結果とその根拠理由】

入学者受入方針、教育課程の編成・実施方針及び学位授与方針が適切に公表、周知されていると判断する。

観点 10-1 -③： 教育研究活動等についての情報（学校教育法施行規則第 172 条の 2 に規定される事項を含む。）が公表されているか。

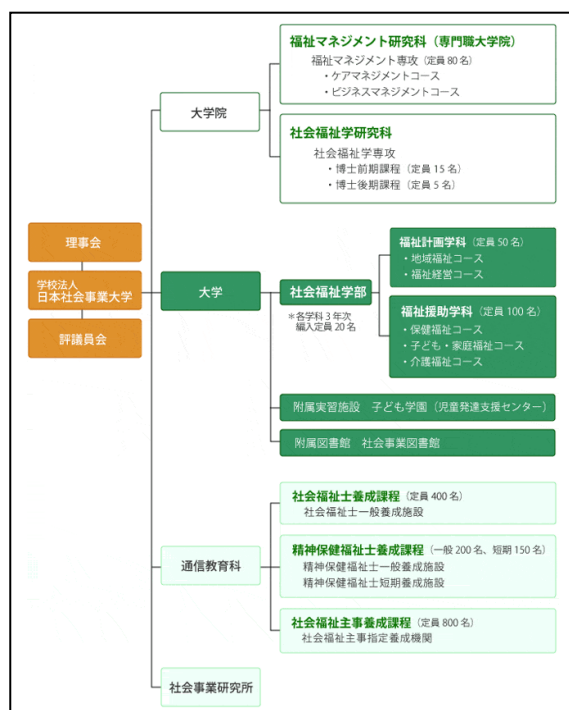
【観点に係る状況】

学校教育法施行規則第 172 条の 2 に規定された事項について次のとおり公表している。

（1） 教育研究上の基本組織に関すること

本学の教育研究上の基本となる運営組織については大学ホームページで適切に公表している。

資料 10-1 -③-1 運営組織



出典：大学ホームページ

<http://www.jcsw.ac.jp/about/outline/organization.html>

(2) 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

教員組織、教員数については、毎年の事業報告書に掲載し、以下のように大学ホームページで適切に公表している。

資料10-1 -③-2 事業報告書

大学ホームページ：<http://www.jcsw.ac.jp/about/johokokai/zaimu.html>

また、各教員が有する学位及び業績は、以下のように大学ホームページで適切に公表している。

資料10-1 -③-3 各教員が有する学位

ホーム

社大案内

教育プログラム

学生生活

入学案内

実践家のスキルアップ

実践研究・研究情報

国際連携

ホーム

>

社大案内

>

大学概要

>

教員紹介

>

福祉計画学科の教員一覧

社大案内

理念・特徴

大学概要

広報活動

情報開示

取り組み・計画

採用情報

入札情報

福祉計画学科の教員一覧

氏名	学位	担当科目	研究テーマ
学部長・教授 辻 浩 TSUJI Yutaka	修士 (教育学)	・生涯学習論 ・教育原理 他	・住民参加による地域福祉の充実
教授 菊池 いづみ KIKUCHI Izumi	博士 (社会科学)	・老人福祉論 ・介護保険制度論 他	・高齢者福祉政策 ・福祉サービス供給主体の多元化と「家族」
教授 後藤 隆 GOTO Takashi	修士 (社会学)	社会学 他	・福祉のインタビューや面接記録の分析
教授 駒木 賢司	学士 (法学)	・社会保障論 ・公的扶助論 他	・社会保障政策 ・社会保障法

出典：大学ホームページ 福祉計画学科の教員 <http://www.jcsw.ac.jp/about/outline/teacher/index-fukushikeikaku.html>

福祉援助学科の教員 <http://www.jcsw.ac.jp/about/outline/teacher/index-fukushienjo.html>

大学院福祉マネジメント研究科 http://www.jcsw.ac.jp/about/outline/teacher/index-s_guniversity.html

大学院社会福祉学研究科 <http://www.jcsw.ac.jp/about/outline/teacher/guniversity-index.html>

資料10-1 -③-4 各教員が有する業績

社大案内

教育プログラム

学生生活

入学案内

実践家の
スキルアップ

実践研究・
研究情報

国際連携

ホーム

>

社会事業研究所の活動

>

教員・研究所所員の教育研究業績

実践研究・研究情報

社会事業研究所の活動

Topics

社会事業研究所の概要

研究事業

研究倫理委員会

科学研究費助成事業

厚生労働省老人保健健康増進等事業

研究誌：研究成果の公表

学内学会

国際交流

教員・研究所所員の教育研究業績

平成25年度 研究業績

下記リストは平成26年4月1日現在の所属・職名です。

	氏名	所属・職名
あ	相原 朋枝	社会福祉学部 講師
	秋元 樹	社会事業研究所 客員教授
	有村 大士	社会福祉学部 准教授
	井上 由起子	福祉マネジメント研究科 教授

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/research/gyoseki.html>

www.jcsw.ac.jp/research/files/H25oshimaiwao.pdf

所属	社会福祉学部、大学院社会福祉学専攻	職名	教授	氏名	大島 康	大学院の授業担当の有無	(○) 無
I 授業科目							
社会福祉学部	支援機関実習(精神保健福祉論)、専門実習、卒業指導						
専門職大学院	社会福祉学研究方法論概論、研究課題設定論Ⅱ(実証研究の設計方法)、福祉プログラム評価論概論、福祉プログラム評価特別講義Ⅰ、福祉プログラム評価特別講義Ⅱ、障害福祉研究実習Ⅲ、障害福祉研究実習Ⅳ、研究発表方法論実習、修士論文指導						
大学院博士前期	社会福祉学研究方法論概論、研究課題設定論Ⅱ(実証研究の設計方法)、福祉プログラム評価論概論、福祉プログラム評価特別講義Ⅰ、福祉プログラム評価特別講義Ⅱ、障害福祉研究実習Ⅲ、障害福祉研究実習Ⅳ、研究発表方法論実習、修士論文指導						
大学院博士後期	社会福祉学専攻研究Ⅰ(保健福祉系)、社会福祉学専攻研究Ⅱ(福祉系)、博士第1次予備審査指導、博士第2次予備審査指導、博士論文第3次予備審査指導						
通信教育科							
II 教育活動							
教育実践上の主な業績		年月日	概 要				
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)			学部各種授業の最初に「今日の到達目標」を提示				
学部授業到達目標の明示		2012年度	文部科学省「組織的な大学院教育改革推進プログラム」「福祉サービスのプログラム評価研究実習」プロジェクト				
2 作成した教科書、教材、参考書		2012年度	精神保健福祉士課程実習指導者会議にて、精神保健福祉士課程の教育方法の特徴を発表				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		2013.1.22	精神保健福祉士課程実習指導者会議にて、精神保健福祉士課程の教育方法の特徴を発表				
4 その他教育活動上特記すべき事項							
精神保健福祉士国家試験対策の実施		2012年度	精神保健福祉士国家試験対策を系統的に実施し、国試合格率 88.2% となる。				
精神保健福祉士課程における就職支援活動		2012年度	実習先、卒業生、非常勤講師、課程関係教員の協力を得ながら、体系的な就職支援活動を行う。その結果、精神保健福祉士の現場就職率82.3				

資料 10-1 -③-5 研究誌・研究成果の公表(研究紀要・社会事業研究・英文紀要)

大学ホームページ：<http://www.jcsw.ac.jp/visitor-society/index.html>

- (3) 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること。

以下のとおり大学ホームページで適切に公表している。

資料 10-1 -③-6 教育情報

大学ホームページ：<http://www.jcsw.ac.jp/about/johokokai/kyoiku.html>

収容定員・在学生数 <http://www.jcsw.ac.jp/about/johokokai/files/26zaigakusya.pdf>

学位授与者数・卒業生数 <http://www.jcsw.ac.jp/about/johokokai/files/25sotugyou.pdf>

就職・進学者数 <http://www.jcsw.ac.jp/about/johokokai/files/25syuusyoku.pdf>

- (4) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

講義概要(シラバス)を大学ホームページで適切に公開している。

資料 10-1 -③-7 講義概要(シラバス)検索

大学ホームページ：<http://www.jcsw.ac.jp/faculty/index.html>

https://www.jcsw-edu.net/aa_web/syllabus/se0010.aspx?me=EU

- (5) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たつての基準に関すること

学士課程は、大学学則第 13 条及び第 51 条に定め、大学院課程は、大学院学則第 12 条、13 条、14 条、15 条、16 条に定め、大学のホームページで適切に公開している。

資料 10-1 -③-8

大学ホームページ：<http://www.jcsw.ac.jp/about/ninen/kisoku.html>

(6) 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

学生の教育研究環境について、大学のホームページ等で適切に公開している。

資料 10-1 -③-9

キャンパス紹介；大学ホームページ	http://www.jcsw.ac.jp/about/outline/campus.html
大学附属図書館；大学ホームページ	http://www.jcsw.ac.jp/facilities/library/about.html

(7) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

授業料等の費用について、大学のホームページ等で適切に公開している。

資料 10-1 -③-10 授業料等（学費）

大学ホームページ：	http://www.jcsw.ac.jp/support/life/jugyoryo/gakuhi.html
-----------	---

(8) 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

学生生活において、就職サポート、資格サポート、進路・就職状況について、或いは、学生相談、保健室、学生寮、アルバイト、学生食堂や購買についての情報を大学のホームページで適切に公開している。

資料 10-1 -③-11 就職サポート、資格サポート、進路・就職状況について

大学ホームページ：	http://www.jcsw.ac.jp/support/shinro/index.html
-----------	---

資料 10-1 -③-12 学生相談、保健室、学生寮、アルバイト、学生食堂や購買

大学ホームページ：	http://www.jcsw.ac.jp/support/life/gakusei/index.html
-----------	---

自己点検・評価の結果や財務諸表等の教育研究活動等についての情報においても、大学ホームページ等で適切に公表している。

資料 10-1 -③-13 自己点検・評価の結果

大学ホームページ：	http://www.jcsw.ac.jp/about/johokokai/jikotenken/index.html
-----------	---

資料 10-1 -③-14 財務状況

大学ホームページ：	http://www.jcsw.ac.jp/about/johokokai/zaimu.html
-----------	---

【分析結果とその根拠理由】

上記のとおり、学校教育法施行規則第 172 条の 2 に規定される事項を含み教育研究活動等についての情報が適切に公表されていると判断する。

(2) 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

先駆的な社会福祉教育のモデル校として、本学教員等が新聞や雑誌等のメディアに掲載された情報や、本学の研究者や卒業生等が福祉実践の現場で活動する内容をコンパクトに紹介する日本社会事業大学ブックレットシリーズを、広報活動として積極的に大学ホームページ上で発信している。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/about/public/index.html>

また、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災で被災された地域の方々に対する本学の取組として、継続的な支援活動を大学ホームページ上で発信している。

出典：大学ホームページ <http://www.jcsw.ac.jp/about/torikumi/saigai.html>

【改善を要する点】

大学ホームページの構成等について、閲覧者の見やすさに配慮して改善を図っていく必要がある。